



探究する生徒の育成 ～社会と向き合い挑戦する～

本年度の鹿本高校教育スローガンは「探究する生徒の育成～社会と向き合い挑戦する～」です。このスローガンのもと今年度のSSHに係る様々な事業がスタートしました。鹿本高校では、「総合的な探究の時間」を『YSP(山鹿サイエンスプログラム)』と称し、1年生はグループで、2年生は個人で研究を行います。3年生では、2年生で取り組んだ研究をさらに深めたり、他の人と協力し、研究を他分野へと広げます。

5月10日(水) SSH講演会 「古気候学と私～過去から学び未来を知る～」

東京大学大気海洋研究所講師の平林頌子先生しょうこをお招きし、山鹿市民交流センターで身近なものを例にしてわかりやすく講演を行っていただきました。「2000年前の気温はどうやって調べたのか?」「気温などを観測され始めたのはいつ頃からか?」「何を調べれば当時の気候がわかるか?」といった、普段のニュースや天気予報で言われていることの起源、調べる手段がない時代の気候がなぜわかるのかなど、改めて質問されると答えに困るものばかりでした。

「観測の起源」を歴史的な背景から、「何を調べれば良いか」を化学や生物の視点から話をされました。そして数学的な統計を通して、地球温暖化など、将来の気候を予測することができることで、「我々は今何をすべきか」を考えさせられるようなメッセージも込められていました。



今回の講演のように、「研究とはどのようなものなのか」、「研究を通してどのように役立つのか」などを参考に今年度の研究がスタートします。平林先生から、「身近なところを見過ぎさない」、「情報を自分で取りに行く」、「研究は個人プレーではない」等とアドバイスをいただきました。身近な課題や生徒個人の興味・関心などテーマは多数あります。今年度はどんな研究が生まれるのか楽しみです。



歴史資料 ⇒
を用いた
説明スラ
イド



⇐ 化学式を
を用いた説
明スライ
ド